

マツムシソウ

学名 *Scabiosa japonica* Miq.

目名

目名学名

科名 マツムシソウ科

科名学名 Dipsacaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

火山性高原に生育するが、野焼きの停止による植生遷移の進行や人工牧野への改変など、生育環境の変化により減少の傾向にある。また、人による採取も懸念される。

県内分布	津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地から山地の日当たりのよい火山性草原。
現状	秋に人の往来が著しい高原や登山道沿いでは、人の採取によって個体数が減少している。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]。越年草。